

令和2年度沖縄県高齢者虐待の状況

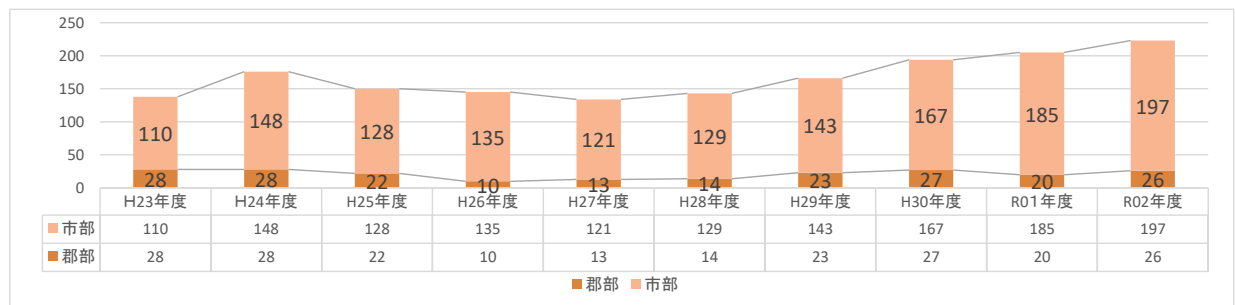
沖縄県内における高齢者虐待事案報告件数は、223件でした。
(うち、養介護施設従事者等による高齢者虐待は、7件。)

高齢者虐待事案報告件数の推移(市町村別)

市町村名	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
合計	138(3)	176(0)	150(2)	145(3)	134(4)	143(9)	166(10)	194(9)	205(7)	223(7)
市部小計	110	148	128	135	121	129	143	167	185	197
1 那覇市	30	60	51	56	59	56	56	63	85	90
2 宜野湾市	7	9	13	13	12	17	9	5	4	3
3 石垣市	7	5	6	4	2	10	6	6	6	7
4 浦添市	4	5	4	2	8	6	12	8	2	2
5 名護市	1	1	0	0	0	0	3	4	1	2
6 糸満市	4	4	0	0	2	0	4	5	5	6
7 沖縄市	24	19	16	26	13	12	20	30	35	32
8 豊見城市	2	7	0	1	3	0	0	4	4	4
9 うるま市	15	16	23	18	9	13	16	21	30	27
10 宮古島市	16	21	12	11	9	13	8	9	9	21
11 南城市	0	1	3	4	4	2	9	12	4	3
郡部小計	28	28	22	10	13	14	23	27	20	26
12 国頭村	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0
13 大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 東村	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
15 今帰仁村	0	1	0	1	2	0	1	0	0	0
16 本部町	0	1	0	0	0	3	8	4	7	8
17 恩納村	0	2	0	0	1	0	1	0	0	1
18 宜野座村	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
19 金武町	6	1	0	0	0	0	0	1	1	2
20 伊江村	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
21 読谷村	2	1	4	2	2	0	2	1	0	0
22 嘉手納町	0	2	1	0	1	0	2	3	0	1
23 北谷町	4	1	0	2	1	1	2	5	2	4
24 北中城村	1	1	0	1	0	0	0	1	2	1
25 中城村	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
26 西原町	5	4	5	1	0	1	3	3	5	3
27 与那原町	0	1	1	2	1	4	1	3	1	2
28 南風原町	3	3	2	0	1	2	0	2	1	1
29 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 座間味村	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
31 粟国村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
32 渡名喜村	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
33 南大東村	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
34 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 久米島町	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0
38 八重瀬町	5	2	4	0	2	2	1	2	1	1
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

()内は養介護施設従事者等による虐待件数

H24年度迄は被虐待者1名につき1件としてカウントしていたが、H25年度からは同一家庭内で一体的に発生していると考えられる事例に関しては1事例としてカウントする。



虐待通報等件数

	令和2年度	令和元年度
本調査対象年度内に通報を受理した事例	454(18)件	381(28)件
対象年度以前に通報を受理し、事実確認調査が対象年度となった事例	15(1)件	21(3)件
対象年度以前に通報受理・事実確認した虐待事例で、対応が対象年度となった事例	62(6)件	49(4)件
合計	531(25)件	451(35)件

()内は養介護従事者等の虐待通報等件数

令和2年度 養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況
(R02.4.1～R03.3.31)

沖縄県内における養介護施設従事者等による高齢者虐待事案報告件数は7件で、被虐待者数は10人でした。

1 虐待を受けていた高齢者本人の状況

(1) 被虐待者の性別

性別	人数	割合
男性	3	30.0%
女性	7	70.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

(2) 被虐待者の年齢階級

年齢階級	人数	割合
65歳未満障害者	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	1	10.0%
75～79歳	2	20.0%
80～84歳	1	10.0%
85～89歳	2	20.0%
90～94歳	2	20.0%
95～99歳	1	10.0%
100歳以上	1	10.0%
合計	10	100.0%

(3) 被虐待者の要介護度

要介護度	人数	割合
自立	0	0.0%
要支援1	0	0.0%
要支援2	0	0.0%
要介護1	0	0.0%
要介護2	2	20.0%
要介護3	0	0.0%
要介護4	6	60.0%
要介護5	2	20.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

(4) 被虐待者の認知症日常生活自立度

自立度	人数	割合
自立または認知症なし	0	0.0%
自立度Ⅰ	1	10.0%
自立度Ⅱ	2	20.0%
自立度Ⅲ	5	50.0%
自立度Ⅳ	2	20.0%
自立度M	0	0.0%
認知症あるが自立度は不明	0	0.0%
認知症の有無が不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

2 施設等のサービス種類

特別養護老人ホーム	2件
認知症対応型共同生活介護	1件
住宅型有料老人ホーム	2件
養護老人ホーム	0件
通所介護等	2件

3 虐待を行った従事者等の職種

介護職	7件
看護職	1件
管理職	3件
その他(生活相談員)	1件

4 虐待の状況(複数回答)

種別	人数	割合
身体的虐待	6	60.0%
介護等放棄	4	40.0%
心理的虐待	4	40.0%
性的虐待	0	0.0%
経済的虐待	0	0.0%
合計(累計)	10(14)	

5 市町村の措置(複数回答)

施設等に対する指導	13件
施設等への改善計画の提出依頼	12件
従事者等への注意・指導	5件

令和2年度 養護者による高齢者虐待の状況 (H02.4.1～R03.3.31)

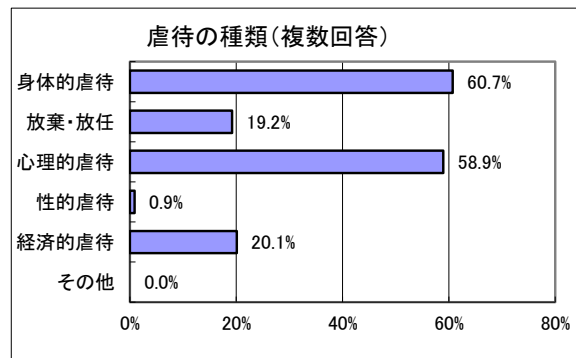
沖縄県内における養護者による高齢者虐待事案報告件数は216件で、被虐待者数は224人でした。

1 高齢者虐待の種類

(1) 虐待の種類(複数回答)

虐待種類	件数	割合
身体的虐待	136	60.7%
放棄・放任	43	19.2%
心理的虐待	132	58.9%
性的虐待	2	0.9%
経済的虐待	45	20.1%
その他	0	0.0%
合計	358	—
被虐待者数	224	

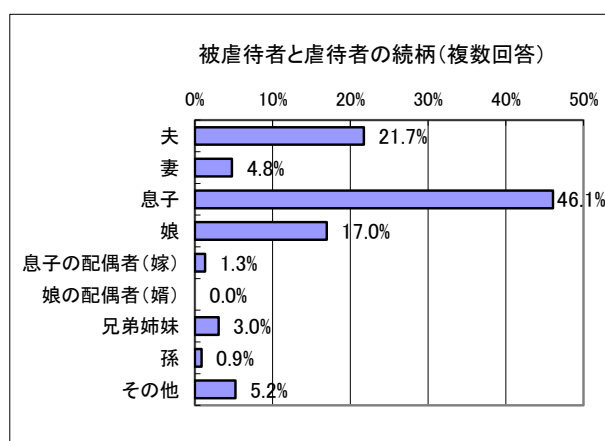
割合は、被虐待者数で除している。



2 主な虐待者の状況

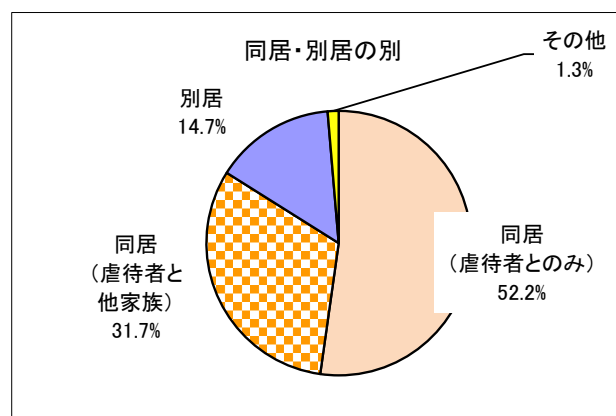
(1) 被虐待者からみた虐待者の続柄(複数回答)

関係	件数	割合
夫	50	21.7%
妻	11	4.8%
息子	106	46.1%
娘	39	17.0%
息子の配偶者(嫁)	3	1.3%
娘の配偶者(婿)	0	0.0%
兄弟姉妹	7	3.0%
孫	2	0.9%
その他	12	5.2%
合計	230	—
被虐待者数	224	



(2) 同居・別居の別

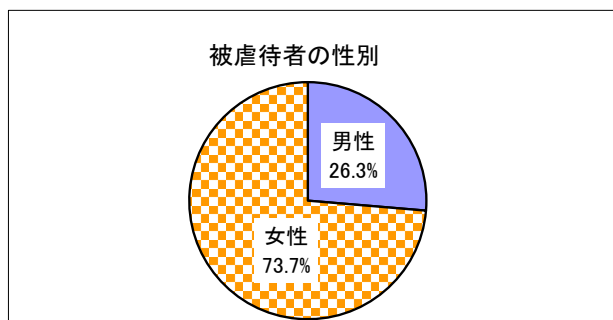
	件数	割合
同居 (虐待者とのみ)	117	52.2%
同居 (虐待者と他家族)	71	31.7%
別居	33	14.7%
その他	3	1.3%
不明	0	0.0%
合計	224	100.0%



3 虐待を受けていた高齢者本人の状況

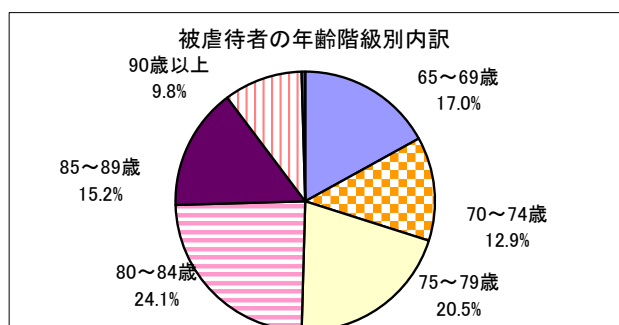
(1) 被虐待者の性別

性別	人数	割合
男性	59	26.3%
女性	165	73.7%
合計	224	100.0%



(2) 被虐待者の年齢階級

年齢階級	人数	割合
65～69歳	38	17.0%
70～74歳	29	12.9%
75～79歳	46	20.5%
80～84歳	54	24.1%
85～89歳	34	15.2%
90歳以上	22	9.8%
不明	1	0.4%
合計	224	100.0%



(3) 被虐待者の要介護度

要介護度	人数	割合
未申請	99	44.2%
申請中	7	3.1%
自立(認定非該当)	11	4.9%
申請不明	0	0.0%
要介護度不明	1	0.4%
要支援1	8	3.6%
要支援2	16	7.1%
要介護1	25	11.2%
要介護2	21	9.4%
要介護3	18	8.0%
要介護4	14	6.3%
要介護5	4	1.8%
合計	224	100.0%

要支援・要介護状態にある方
107人
47.8%

○被虐待者の認知症の日常生活自立度
(要介護認定済者のみ)

自立度	人数	割合
自立又は認知症なし	6	5.6%
I	27	25.2%
II	40	37.4%
III	24	22.4%
IV	4	3.7%
M	3	2.8%
認知症はあるが自立度不明	1	0.9%
認知症の有無が不明	2	1.9%
合計	107	100.0%

要介護認定者107人における認知症日常生活自立度「II以上」の者は66.4%であり、被虐待高齢者全体(224人)の31.7%を占めた。

自立度II以上
71人 66.4%

全被虐待者の 31.7%

4 市町村等のとった措置(複数回答)

対応	件数	割合
訪問調査による事実確認	372	166.1%
関係者からの情報収集	51	22.8%
立入調査	2	0.9%
虐待者との分離	68	30.4%
見守りの継続	41	18.3%
養護者(虐待者)の支援	81	36.2%
介護保険申請	10	4.5%
ケアプランの見直し	26	11.6%
成年後見の市町村長申立	8	3.6%
日常生活自立支援事業の活用	4	1.8%
その他	53	23.7%
合計	716	

高齢者虐待を判断した事例において、事実確認調査をほぼ実施している。

分離の方法として、緊急一時保護、老人福祉法に基づく措置、契約による介護保険サービスの利用などがある。

「その他」の内容として、個別ケース会議の開催、関係機関との連携、福祉サービス利用の促進などがある。

割合は、被虐待者数で除している。

5 成年後見制度の利用状況

	人数
成年後見制度利用開始済	6
成年後見制度利用手続き中	8
(内数)	
市町村長申立あり	8
市町村長申立なし	6